

1999年2月10日

アサヒビール株式会社
代表取締役社長 福地茂雄 様

主婦連合会

会長 清水鳩子
<事務局>
千代田区六番町15
☎03-3265-8121

日本アルコール問題連絡協議会

会長 上野 佐
理事長 河野裕明
<事務局>
中央区日本橋浜町3-19-3 ヲノ21ビル
アルコール問題全国市民協会内
☎03-3249-2551
FAX03-3249-2553

アルコール問題全国市民協会 (ASK)
アディクション問題を考える会 (AKK)
日本キリスト教婦人矯風会
日本アルコール・薬物医学会
日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会
飲酒運転に反対する市民の会
イッキ飲み防止連絡協議会
全日本断酒連盟
救世軍日本本営
国際グッドテンプレートズ
日本禁酒禁煙協会
日本禁酒同盟
アンスワール相互保険会社

ビアウォーターに関する申し入れ

本年1月29日に貴社が発売されたビアウォーターは、ウォーター（水）という名称のとおり「水感覚、清涼飲料感覚で飲むビール」ということで、以下のようなアピールを行っています。

- ・どんな時、どんな場所でも。
- ・これまでの常識にとらわれず、好きなとき、好きなように、ゴクゴク飲める楽しめる。

ビールは、致酔性、依存性をもつエチルアルコールを主体にしたアルコール飲料です。実際に、飲酒による障害は、急性アルコール中毒・飲酒運転・転落等の事故・肝臓障害など慢性の疾患・アルコール依存症など多岐にわたり、社会問題になっています。

飲酒にはさまざまなリスクが伴うという自覚を消費者がしっかりとつことが大切であり、製造物責任法の観点からみて、酒類メーカーにはこのような危険情報を消費者に知らせる責務があると私たちは考えております。

にもかかわらず、ビールを水感覚で、どんな時どんな場所でも、好きなように飲むよう勧める姿勢は、このようなリスクに対する配慮をまったく欠くものであり、無責任としか言いようがありません。

つきましては、この製品に対して、以下の2点を申し入れます。

- 1) ビアウォーターの「ウォーター」は消費者に「水感覚で飲んでよい」という誤解を与えるため、名称を変更すること。
- 2) 「どんな時、どんな場所でも。」「好きなとき、好きなように、ゴクゴク飲める楽しめる。」といった消費者に飲酒への警戒感を失わせる表現は、用いないこと。

なお、どのような対処をなさるか、2月末日までに主婦連まで回答をお寄せください。